

[参 考]

平成17年度冬期観察において夜空の明るさが星の観測に適していた場所

夜空の明るさ(等級)	都道府県	市区町村	観 察 場 所 < 参 加 団 体 >
22.3	熊本県	みなまたし 水俣市	熊本県環境センター夕日の広場 < 熊本県環境センター >
22.1	島根県	おおだし 大田市	島根県立三瓶自然館 < 島根県立三瓶自然館北刈 >
21.9	栃木県	おおたわらし 大田原市	ふれあいの丘駐車場 < 夢集団・星と凧を語る会 >
21.8	静岡県	かわね ほんちょう 川根本町	川根本町高郷地内大井川隣接地 < スターウォッチング on 中川根 >
21.4	福岡県	ほしのむら 星野村	星の文化館駐車場 < (財)星のふるさと「星の文化館」 >
	福島県	しらかわし 白河市	白河関の森公園駐車場 < 白河の関天文台 >
21.3	熊本県	あしきたまち 芦北町	伏木氏地区星座観測展望所 < 芦北星を見る会 >
	福岡県	ちくじょうまち 築上町	山村自然学校屋上 < 築上町 >
21.1	佐賀県	からつし 唐津市	宮浦橋付近農道(千鼓星の里) < 唐津市 >
20.7	千葉県	かもがわし 鴨川市	鴨川天体観測所 < 鴨川市に天文台をつくろう会 >

注1)「星の観察に適していた場所」については、カラーズライド写真から求めた「夜空の明るさ(暗さ)」を基本に、肉眼や双眼鏡を使った観察結果や観察日時等も考慮して評価したものである。

注2) この評価の結果は、平成17年度冬期全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)に自発的に参加した団体による任期の地点の観察結果に基づいて評価したものであり、全国の星空を網羅的に調査したものではない。従って、ここで発表した観察地点以外で「星の観察に適した場所」もあり得る。

< 選定基準 >

1. 規定の時間内に撮影されたスライドから測定した夜空の明るさを基本とする。
日没後1時間半～3時間半(夏期)、日没後1時間～3時間(冬期)に撮影されているもの。
天の川観察と双眼鏡の観察と同じ日にスライド撮影されているもの。
評価日参加人数が5人以上のもの。
2. 天の川の確認状況が、それぞれの地点(夏期:白鳥座、たて座、いて座、冬期:ペルセウス座、ふたご座、いっかくじゅう座)において、「見える」とされているもの。